

【学位授与の方針】

融合理工学府博士前期課程 数学情報科学専攻

数学・情報数理学コース

「自由・自立の精神」

純粋数学、応用数学、情報数理学を連続した分野として融合的に視野に入れ、数学的知識と論理的思考に基づき、高い倫理性を持って主体的で自立した行動ができる。

「地球規模的な視点からの社会とのかかわりあい」

数学、情報数理学の知識および論理的思考をもとに柔軟な応用能力を身につけることで自らの価値を高め、地球規模的な視点に立って、社会の諸分野で自らの活躍の場を追求できる。

「専門的な知識・技術・技能」

数学的思考の礎となる数学、情報数理学の専門的な知識を習得し、社会と関わる局面の中で論理的な思考、検討を行い、問題解決に資する能力を獲得することができる。

「高い問題解決能力」

修了要件として課せられた科目で修得した高度な専門的知識を活用できること。修士論文の研究テーマを見つけ、研究を遂行することを通して、問題の解析、情報の収集、現状の分析等を行い、論理的な思考と自由な発想で問題解決に取り組む能力を身につけていることができる。また、成果を他者と共有したり、プレゼンテーションすることができる。

情報科学コース

「自由・自立の精神」

自立した理工系高度専門職業人、高度情報化社会を支える知的素養のある人材として、情報科学に関する深い学識を活かした柔軟な思考や深い洞察に基づいて、主体的に行動できる。

「地球規模的な視点からの社会とのかかわりあい」

地球規模的な視点から情報科学の果たすべき役割と責任について考察し、社会の持続的な発展のために役立てることができる。

「専門的な知識・技術・技能」

情報科学の深い学識に加えて、高度情報化社会を俯瞰できる学際的で幅広い視野に立った教養をもち、柔軟な思考と深い洞察からイノベーション創出に貢献することができる。

「高い問題解決能力」

高度情報化社会において専門的知識・技術を要する課題を、他者と協調・協働することにより解決できる。また、広範な情報科学分野の知識・能力を統合・整理し、課題解決に役立てることができる。